

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルガレージ

コード番号 4819 URL <http://www.garage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートストラテジー本部 (氏名) 曾田 誠

TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	17,887	14.5	1,739	114.1	3,464	105.3	3,507	145.9
26年6月期第2四半期	15,622	12.8	812	71.8	1,687	44.5	1,426	56.1

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 6,004百万円 (△3.7%) 26年6月期第2四半期 6,236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	74.63	74.46
26年6月期第2四半期	30.41	30.30

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	89,856	41,782	39.4	752.65
26年6月期	71,009	36,489	42.9	648.06

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 35,381百万円 26年6月期 30,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年6月期(予想)の期末配当金25円00銭は、普通配当5円00銭と創立20周年記念配当20円00銭の合計額であります。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	18.5	4,500	72.5	6,700	50.8	5,200	82.6	110.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	47,266,000 株	26年6月期	47,230,800 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	256,800 株	26年6月期	256,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	46,994,565 株	26年6月期2Q	46,900,978 株

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

・当社は、本日、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、同日、TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円安の進行を背景に企業収益が改善するなかで緩やかな回復基調にあります。消費税率引き上げ後の個人消費の低迷が長引き、先行きは不透明な状況となっております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成26年9月末時点で固定系ブロードバンド契約数が約3,605万とインターネットを利用する機会が広く普及しており、スマートフォンやタブレットの利用者の増加により移動系データ通信専用サービス契約数は約3,997万となるなど継続的な拡大基調にあります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、マーケティング事業、ペイメント事業及びインキュベーション事業のすべての事業において売上高及び営業利益が対前年同期比で増加した結果、連結売上高は17,887百万円（対前年同期比2,264百万円増、同14.5%増）、営業利益は1,739百万円（対前年同期比927百万円増、同114.1%増）となりました。また、持分法による投資利益905百万円及び当社が保有する外貨建資産の評価替等により発生した為替差益708百万円の計上等から、経常利益は3,464百万円（対前年同期比1,776百万円増、同105.3%増）となりました。さらに、持分法適用の関連会社である(株)カカコムによる自己株式の公開買付けに応募し、保有株式の一部譲渡したことにより特別利益に発生した持分変動利益2,234百万円の計上等から、四半期純利益は3,507百万円（対前年同期比2,081百万円増、同145.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [マーケティング事業]

マーケティング事業では、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。また、ビッグデータを活用したデータマネジメントビジネスにも取り組んでおります。

インターネット広告・プロモーションを手掛ける当社ディージー・アンド・アイベックスカンパニーは、アフィリエイトマーケティング等のパフォーマンスアドが牽引して、高い成長を続けております。また、新たなサービス開発に向けた取り組みとして、位置情報関連技術を活用してスマートフォン端末に対して情報やクーポンを配信するO2O(Online to Offline)送客サービスの実証実験を実施致しました。今後はスマートフォン等向けアプリを活用して決済まで完結させる包括的なO2Oサービスの実現を視野に、実証実験を継続していく予定であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,781百万円（対前年同期比1,156百万円増、同17.5%増）、営業利益は526百万円（対前年同期比191百万円増、同57.2%増）となりました。

#### [ペイメント事業]

ペイメント事業では、Eコマースにおける決済ソリューションの提供を行っております。

日本国内で決済事業を展開するペリトランス(株)及び(株)イーコンテクストにおいて、決済の取扱件数、取扱高が堅調に伸長し、さらに、econtext Asia Limitedの株式公開に係るコストの発生が一巡した結果、対前年同期比で増収増益となりました。また、アジア地域では、経済発展が期待されるベトナムにおきまして、20~30代の若者向け商品を幅広く取り扱うオンラインマーケットプレイス「Sendo」を運営するSendo Technology JSC(本社:ベトナム ホーチミン市)への出資を行い、合弁事業化することで合意致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,082百万円（対前年同期比479百万円増、同7.3%増）、営業利益は590百万円（対前年同期比126百万円増、同27.4%増）となりました。

#### [インキュベーション事業]

インキュベーション事業では、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。また、米国サンフランシスコを拠点に、ソフトウェア開発支援やデザインコンサルティングを手掛けております。

ベンチャー企業への投資を行う(株)DGインキュベーションにおいては、外部筆頭株主を務める国内投資先2社が新規に株式公開を致しました。また、オンライン百科事典「Wikipedia」(ウィキペディア)の創始者であるJimmy Wales氏が立ち上げたコミュニティサイト「Wikia」(ウィキア)を運営するWikia, Inc.(本社:米国カリフォルニア州サンフランシスコ市)に対する出資を行い、今後は「Wikia」の日本展開を支援し、広告販売に繋げて参ります。

これらの状況のもと、保有株式の売却による利益が対前年同期比で増加した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,023百万円（対前年同期比628百万円増、同26.3%増）、営業利益は1,139百万円（対前年同期比667百万円増、同141.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて17,081百万円増加し、62,536百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が9,827百万円、決済事業等に係る未収入金が5,872百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,766百万円増加し、27,320百万円となりました。この主な要因は、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が1,634百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて13,636百万円増加し、39,097百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が4,415百万円、決済事業等に係る預り金が9,062百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて82百万円減少し、8,976百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて5,292百万円増加し、41,782百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により3,507百万円増加した一方、剰余金の配当により234百万円減少したことによるもののほか、その他有価証券評価差額金が1,269百万円、為替換算調整勘定が498百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年1月30日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,294,997	34,122,735
金銭の信託	889,164	1,068,555
受取手形及び売掛金	3,658,527	3,739,672
営業投資有価証券	8,063,977	8,960,038
投資損失引当金	△488,652	△422,694
商品	1,080	2,645
仕掛品	18,591	37,200
原材料及び貯蔵品	1,446	1,081
未収入金	8,596,697	14,469,639
その他	434,265	585,863
貸倒引当金	△14,836	△28,413
流動資産合計	45,455,259	62,536,324
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	2,158,533	2,225,822
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	1,210,198	1,241,387
のれん	7,354,590	7,112,300
その他	23,121	21,710
無形固定資産合計	8,587,910	8,375,398
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	10,644,406	12,278,811
その他	4,232,092	4,543,468
貸倒引当金	△39,245	△39,245
投資損失引当金	△29,237	△63,629
投資その他の資産合計	14,808,016	16,719,405
固定資産合計	25,554,459	27,320,625
資産合計	71,009,719	89,856,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,629,586	1,717,425
短期借入金	3,300,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	390,686	4,806,046
未払法人税等	1,241,682	1,865,009
賞与引当金	147,757	53,800
預り金	16,434,414	25,496,506
その他	2,317,035	3,158,911
流動負債合計	25,461,162	39,097,700
固定負債		
長期借入金	8,841,160	8,130,825
退職給付に係る負債	89,152	82,085
その他	128,486	763,792
固定負債合計	9,058,799	8,976,702
負債合計	34,519,961	48,074,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,399,002	7,418,109
資本剰余金	10,817,448	10,721,064
利益剰余金	9,615,957	12,864,902
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	27,762,568	30,934,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,193,931	3,463,167
為替換算調整勘定	485,678	984,219
その他の包括利益累計額合計	2,679,609	4,447,386
新株予約権	141,121	169,054
少数株主持分	5,906,458	6,231,868
純資産合計	36,489,758	41,782,546
負債純資産合計	71,009,719	89,856,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,622,858	17,887,330
売上原価	12,128,419	13,151,025
売上総利益	3,494,438	4,736,304
販売費及び一般管理費	2,682,177	2,997,037
営業利益	812,260	1,739,267
営業外収益		
受取利息	3,748	6,056
受取配当金	100	—
持分法による投資利益	776,623	905,820
為替差益	272,560	708,020
その他	143,694	264,190
営業外収益合計	1,196,727	1,884,087
営業外費用		
支払利息	41,629	46,569
不動産賃貸原価	87,077	110,389
上場関連費用	191,602	—
その他	1,266	2,185
営業外費用合計	321,575	159,143
経常利益	1,687,412	3,464,211
特別利益		
持分変動利益	350,372	2,234,147
投資有価証券売却益	116,396	68,226
その他	6,966	—
特別利益合計	473,735	2,302,373
特別損失		
固定資産除却損	1,805	—
減損損失	376	2,649
投資損失引当金繰入額	11,450	34,954
関係会社整理損	—	34,304
その他	707	21
特別損失合計	14,340	71,930
税金等調整前四半期純利益	2,146,807	5,694,655
法人税、住民税及び事業税	696,609	1,869,440
法人税等調整額	△1,193	118,863
法人税等合計	695,416	1,988,303
少数株主損益調整前四半期純利益	1,451,390	3,706,352
少数株主利益	25,208	198,946
四半期純利益	1,426,182	3,507,405

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,451,390	3,706,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,789,166	1,269,328
為替換算調整勘定	△4,201	1,018,905
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10,159
その他の包括利益合計	4,784,964	2,298,392
四半期包括利益	6,236,355	6,004,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,191,471	5,275,182
少数株主に係る四半期包括利益	44,883	729,562

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,146,807	5,694,655
減価償却費	101,235	147,319
ソフトウェア償却費	194,359	208,344
減損損失	376	2,649
のれん償却額	395,099	389,707
受取利息及び受取配当金	△3,848	△6,056
支払利息	41,629	46,569
為替差損益(△は益)	△254,127	△686,078
持分法による投資損益(△は益)	△776,623	△905,820
持分変動損益(△は益)	△350,372	△2,234,147
投資有価証券売却損益(△は益)	△116,396	△68,226
売上債権の増減額(△は増加)	△597,999	△96,490
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△556,211	△36,694
投資損失引当金の増減額(△は減少)	192,387	△31,565
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,981	△19,599
未収入金の増減額(△は増加)	△2,377,822	△2,794,717
仕入債務の増減額(△は減少)	217,272	77,911
未払金の増減額(△は減少)	△12,460	112,181
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,400	44,014
預り金の増減額(△は減少)	3,652,043	9,105,983
その他	△30,366	△180,955
小計	1,830,599	8,768,983
利息及び配当金の受取額	3,035	12,417
利息の支払額	△41,441	△51,589
法人税等の支払額	△806,389	△1,262,615
法人税等の還付額	57,141	7,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,042,945	7,474,758
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△235,764	△76,509
無形固定資産の取得による支出	△250,171	△251,188
投資有価証券の取得による支出	△1,592,347	△451,818
投資有価証券の売却による収入	626,895	—
関係会社株式の取得による支出	△144,984	△69,246
敷金及び保証金の差入による支出	△6,539	△64,600
その他	△216,474	△44,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,819,386	△958,285

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,600,000	25,600,000
短期借入金の返済による支出	△3,700,004	△26,900,000
長期借入れによる収入	—	3,900,000
長期借入金の返済による支出	△52,193	△315,824
株式の発行による収入	104,522	37,727
配当金の支払額	△231,235	△233,155
少数株主からの払込みによる収入	5,742,535	—
その他	△13,194	△15,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,450,429	2,073,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	230,144	1,431,870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,904,132	10,022,020
現金及び現金同等物の期首残高	19,090,986	25,183,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,995,118	35,205,566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	マーケティング事業	ペイメント事業	インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,625,072	6,603,400	2,394,384	15,622,858	—	15,622,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,065	7,199	—	14,264	△14,264	—
計	6,632,138	6,610,599	2,394,384	15,637,122	△14,264	15,622,858
セグメント利益	335,257	463,109	471,624	1,269,991	△457,730	812,260

(注) 1. セグメント利益の調整額△457,730千円には、セグメント間取引消去257,540千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△715,271千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、ペイメント事業ののれんが、連結子会社であるecontext Asia Limitedの香港証券取引所への株式上場と公募増資に伴う持分変動による取崩しにより1,873,965千円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	マーケティング事業	ペイメント事業	インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,781,184	7,082,931	3,023,214	17,887,330	—	17,887,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,204	1,935	—	7,139	△7,139	—
計	7,786,388	7,084,866	3,023,214	17,894,470	△7,139	17,887,330
セグメント利益	526,964	590,001	1,139,210	2,256,176	△516,909	1,739,267

(注) 1. セグメント利益の調整額△516,909千円には、セグメント間取引消去183,336千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△700,245千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。